

報道機関各位

長岡市地方創生推進部政策企画課長



平和への想いをつなぐ取り組みを支援！ あいおいニッセイ同和損害保険(株)が市に寄附金を贈呈

長岡市は、長岡空襲の史実、慰霊の想いを後世へ伝え、平和の尊さを長岡から世界へ発信するため、長岡戦災資料館の移転整備を進めています。

このたび、「MS&ADゆにぞんスマイルクラブ基金^{*1}」(事業主体：あいおいニッセイ同和損害保険株式会社)から、平和の尊さを発信する取り組みへの一助として、10万円を寄附いただきました。市は、この寄附金を、長岡戦災資料館移転整備事業費^{*2}の一部に充てさせていただきます。

つきましては、下記のとおり贈呈式を行いますので、ぜひ取材くださいますようお願いいたします。

あいおいニッセイ同和損害保険(株) 寄附金贈呈式

- | | | | |
|-------|---|----------|--|
| 1 日時 | 2月17日(火) 午前11時から(約30分) | | |
| 2 会場 | アオーレ長岡 東棟4階 第二応接室(長岡市大手通1-4-10) | | |
| 3 内容 | 寄附金 10万円 | | |
| 4 出席者 | あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 | | |
| <寄贈側> | 新潟支店 支店長 | 鈴木 裕一郎 様 | |
| | // 地域戦略室 室長 | 高橋 直哉 様 | |
| | // 長岡支社 支社長 | 藤尾 克久 様 | |
| | // 長岡支社 副支社長 | 新開 遼子 様 | |
| <受納側> | 長岡市 地方創生推進部長 | 五十嵐 智行 | |
| | 総務部長 | 水内 智憲 | |
| 5 内容 | ①寄贈者あいさつ
②寄附金贈呈・記念撮影
③懇談 | | |
| 6 その他 | 取材いただく際は、下記問い合わせ先まで事前にお電話ください。
また、当日は社名の入った腕章の着用をお願いします。 | | |

問い合わせ：政策企画課 中村
TEL: 0258-39-2204

※1 MS&ADゆにぞんスマイルクラブ基金

地域貢献・社会貢献を目的に、MS&AD インシュアランス グループの社員による社会貢献活動団体として、平成13年に発足しました。活動に賛同する社員が毎月の給与から「1口100円から最大30口」を拠出する募金制度から寄贈いただくものです。

(会社からも参加人数×100円×12ヶ月分をマッチングギフトとして拠出しています。)

市への寄贈は、平成30年3月30日に長岡市と締結した「地方創生に関する包括連携協定」に基づき、今回で9回目となります(過去の贈呈は次のとおり)。

年度	寄贈品
H29	カセットガス式発電機2台(燃料カセットボンベ144本含む)
H30	カッティングマシン1式(PC、消耗品含む)
R元	災害時の避難所用の掃除機7台
R2	スポーツ用車いす購入費用25万円
R3	米百俵プレイスマライエ長岡 図書購入費 25万円
R4	米百俵プレイスマライエ長岡 図書購入費 25万円
R5	米百俵プレイスマライエ長岡 図書購入費 25万円
R6	避難所備蓄物資購入費 10万円
R7	長岡戦災資料館の整備経費 10万円(今回)

※2 長岡戦災資料館移転整備事業

昭和20年7月20日の模擬原子爆弾の投下と同年8月1日の焼夷弾爆撃によって、現在わかっているだけで1,489人の尊い生命が失われました。新潟県内唯一の大規模戦災都市である長岡市は、絶対に風化させてはならない長岡空襲の史実を後世へ伝えるために、慰霊と平和を尊ぶ想いを発信するための恒久的な伝承施設として長岡戦災資料館をリニューアルします。